



といさんの作品

絵本『僕らの秘密基地』



絵本『オバケのしわざ!?!』 CHICORA BOOKS 出版

詩画集『星 かげぼくら』 CHICORA BOOKS 出版



といさんの最新情報は ←こちら

津山の人・物・技術など、明日誰かに自慢したくなる津山のいいところを紹介します

ええとこ いっぱい 津山 自慢

11 つやまじまん

絵本作家として活躍 とい よしひこさん（加茂町小中原出身）

小学5年生から始めた体操で県外の高校に進学。大学卒業後、デザイン兼印刷会社で働く傍ら、DTPデザインを学ぶ。デザイナーなどとして活動しながら、絵本制作を開始。令和元年に『オバケのしわざ!?!』で第1回CHICORA BOOKSキャラクター絵本出版大賞受賞。大阪府在住40歳。

徐々にたどり着いた絵本の世界 小さい頃から絵は好きで、一人黙々と漫画を描いていました。高校時代は体操漬けの毎日で、なかなか描けませんでした。大学では、ある程度自由な時間ができたので、我流でペン画や詩を書き、部活終わりの夜の路上で作品を売ることもありました。社会人になり、自分の描きたい絵、自分の絵の原点を追求していくうち、徐々に絵本にたどり着きました。

心の原風景は加茂の緑

数年前の夏、絵本の話作りに頭を悩ませながらお盆に帰省した際、昔遊んだ山を久しぶりに散歩し、その魅力に改めて気付きました。

子どもの頃、秘密基地をひたすら探して、山の中を友だちと走り回っていた、あの頃の風景をリアルに、シンプルに描きたい！当時の景色を思い返しながら、絵本『僕らの秘密基地』を描き上げました。

あの頃は当たり前だった風景ですが、都会に出た後で改めて故郷の良さ、自然の美しさに気付くことができたんです。この作品に限らず、過去の作品のほとんどが、自然を題材にしたり、どこかに緑色を使ったりして、心の原風景はやっぱり津山の自然、加茂の

緑なんだなと思いました。好きなことにどんどん挑戦を

子どもの頃から絵を描いたり、詩を綴ったり、物語を作ったり、誰に頼まれる訳でもなく、一人で楽しんでやってきました。それは学生の頃も、大人になった今でも変わっていません。もちろん体操も好きで楽しんでいました。怪我や挫折をして嫌になった時期を含め、これまで経験してきたことが詩の言葉や表現力に大きく影響していると感じています。

子どもたちには、自分の好きなこと、気になったことはどんどん挑戦、経験して、これだと思つものを見つけて欲しいです。自分の「これだー」が見付かるほど素晴らしいことはありません。見付かるときっと今も明日もずっと先の未来までも、楽しくなるはずですよ。

来年夏をご期待ください！

実は今、『僕らの秘密基地』を新しく描き直しています。詳細はまだ発表できませんが、来年夏、津山の夏の自然をたっぷり詰め込んだ絵本が全国発売される予定です。これからも故郷津山の原風景をベースにした、楽しく心地よい作品を描き続け、皆さんに発信していきたいです。

※DTPデザイン：パソコンを使ったデザイン ※といさんの絵本の読み聞かせ動画を20ページで紹介しています

手刈りでの稲刈り体験の様子を取材しました。刈り取った稲を束ね、ハデに掛けた後、20日間ほど天日干しするそうです。手間と時間が掛かりますが、乾燥機を使ったものとは一味違うと指導者の皆さん。我が家の米は機械刈りで、乾燥機に掛けたものなので、一度天日干しの米と食べ比べてみたいです。(笑)

津山自慢のコーナーで紹介した、といさんの絵本を読みました。途中のドキドキと最後のほっとする温かさ。子どもの頃、大好きだった絵本の記憶がよみがえり、色鉛筆の優しいタッチ、言葉の使い方など、といさんの世界に引き込まれました。わたしの感想はこのくらいで…。ぜひ、読んでみてください。(笑)

17ページ「津山城の石垣修理」に掲載の写真は、今年3月の工事見学会で撮影したものです。写っていないところにも多くの大きな石が並べられ、今の機械や技術がない時代にどうやって運び、積み上げたのか不思議に思いました。工事は今も発掘調査をしながら進んでいます。今後の新たな発見に注目です。(三)



0868-32-2029  
0868-32-2152  
kouhou@city.tsuyama.lip

広報津山は、環境保護のため再生紙・植物性インキを使用しています。読み終わった後はリサイクル（資源）にご協力ください。



津山市公式  
フェイスブック



津山市公式  
LINE



津山市公式  
インスタグラム

